



かがやく 150周年 ここから未来へとび立て 平和 希望 努力の 小原田の子 「平和 希望 努力」小原田小だより

令和6年度 No.47
令和7年3月11日
郡山市立小原田小学校
文責 校長 佐久間誠

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



東日本大震災から 14年 ～東日本大震災の回～

平成23(2011)年3月11日午後2時46分に発生した東北地方太平洋沖を震源とするマグニチュード9.0の巨大地震。この地震により、震度6強以上の強い揺れが、東北地方の広い範囲で観測されました。小原田小に通う子どもたちにとっては生まれる前の出来事。あっという間に14年が経ちました。

昨年(2023)の1月1日には能登半島地震で大きな被害が発生し、今も多くの方々が避難生活を送っています。最近(2024)は台風が大型化しています。豪雨による被害、さらに豪雨による土砂崩れも発生しています。日本は自然災害の多い国です。

大切な命を守るために子どもたちに伝えたいのは、「自分の命は自分で守る」ことです。

地震が発生したとき、台風や豪雨の被害が予想されるとき、何を持ち出すか、どこに避難するか等、非常時の対応をおうちの方と話し合ってくださいと思います。

地震や台風等の自然災害、交通事故、不審者による被害事故、水難事故、いずれからも命を守るために大切なことは「準備をすること」だと考えています。準備をすること＝約束を決めること、そして約束を実行すること。

学校では、命を大切にしていけるために「自分の命は自分で守る」ことを指導し続けていきます。

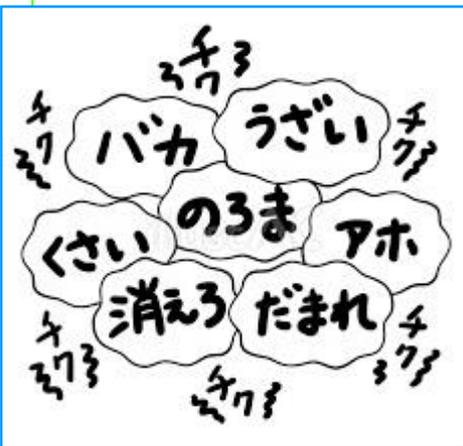


学校で力を入れて取り組んでいること＝気持ちよく学校生活を送るために

最近、学校で気になることとして、子どもたちの「言葉」が話題になり、特に力を入れて指導しているところです。

友達の悪口を言う、友達が傷つくような言葉を使う、友達を挑発するような言葉を使う等、「チクチク言葉」が目立つということが問題になっています。「バカ」「キモい」「ウザい」「そんなことも知らないの?」「一緒に遊んであげない」「あっちへ行け」等の言葉がよく聞かれます。

言葉は私たちが思っている以上に大きな力を持っているようです。だからこそ「チクチク言葉」を人に投げつけないように注意が必要です。そして「チクチク言葉」を使わないようにすることとともに、なるべく相手に「ふわふわ言葉」を投げかけるようにすると、相手を思いやる気持ちが育つだけでなく、次第に人とのコミュニケーションが上手になると言われています。



▲チクチク言葉をなくしたい

また、「ありがとう」「ごめんね」「すごいね」「楽しいね」「よく頑張ったね」等、言われると気持ちが嬉しくなる言葉を「ふわふわ言葉」と言います。頑張っている時やつらい時に、「ふわふわ言葉」を聞くと励まされ、自己肯定感もあがるそうです。

生徒指導だよりNo.18でもお伝えしましたが、学校では「言葉」を大切にするために、「チクチク言葉」と「ふわふわ言葉」について繰り返し指導し、子どもたちが「自分も友達も」大切にできるように粘り強く取り組んでいきます。

帰宅後や休日の過ごし方について

3月になり、日が長くなり、子どもたちも外で遊ぶことが増えました。そこで心配されるのが交通事故などの事故や事件です。

学校では以下の6点について繰り返し指導を行っていますが、帰宅後や休日には、ご家庭や地域で子どもたちを見守っていただくこととなります。

そこで、ご家庭で、帰宅後の過ごし方、休日の過ごし方、安全な生活の仕方などについて、お子さんと話題にさせていただけたら幸いです。

- 午後4時までに家に帰る(午後4時には家にいる)
- 道路では絶対に遊ばない、飛び出しは絶対にしない
- 川には近づかない、絶対に入らない
- 「いかのおすし」を守る
- お金の貸し借りは絶対にしない。
- お金(財布)、貴重品、家の鍵など、大切なものはバッグなどにきちんと入れる。

また、子どもたちの危険な行動を見かけた際には、その場で子どもたちに声をかけるなどして、子どもたちの安全を守っていただければ助かります。ご協力をよろしくお願いいたします。

